

# 九州産業考古学会報

第11号 2008年12月15日発行 発行元：九州産業考古学会



## 失われる歴史遺産

砂場一明（事務局長）



日本における遺跡破壊の8割は公共開発関連といわれているが、先般も「《遺構を潰して資料館》の愚 松江・家老屋敷群」という記事を読売新聞の文化面に見た。それによると島根県の松江市は、「開府400年」を期して近世歴史資料館の建設を計画し、その用地に松江藩歴代家老屋敷跡を選定した。着工に伴う事前調査で、江戸期から明治にかけての地層から、貴重な遺構・遺物が良好な状態で出土したが、この貴重な遺跡をわざわざ潰して歴史資料館を建設しようというのだから、何という発想かとあきれられるも当然だろう。地元の考古学会などは遺跡の保存を求めているが、市は、近世遺跡は学術的な調査対象

になりにくいなどと強弁しているという 松江市は 近世の城や城下町を売り物にしているはずだが、どうなっているのだろうか。

こうした問題は松江市に限らない。九州でも、福岡でも、身近に見られるところである。遺跡保存は常に難題がつきまとうが、破壊され一旦失われたものは二度と取り戻すことはできない。歴史遺産を破壊した上に歴史の顕彰碑を建てるような愚行はあってはならないことである。

こうした記事に暗然としていたころ、「九州・山口の近代化産業遺産群」が世界文化遺産国内候補として暫定リスト入りしたというのは、嬉しいニュースであった。これは一般の人々にはまだまだ馴染みが薄い近代化産業遺産であるが、身近に実在し原型をとどめているものだけでなくPRもしやすく、後世に残し伝えたい歴史遺産である。

九州産業考古学会では、今年度事務局体制を一新し、私が事務局長を拝命しております。小会の大切な機関誌である会報も11号となります。誌面の充実に努めたく存じますので、皆様方の御支援のほど、よろしく願いいたします。

## 【報告】

### 杵島炭鉱跡（佐賀県）見学記

木元富夫（小会前会長）

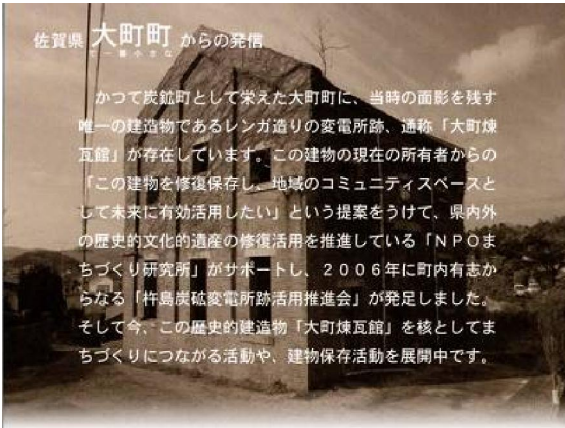
佐賀県杵島郡大町町(きしまぐん・おおまちちょう)にあった杵島炭鉱の旧跡を見学したので、報告がてら御紹介したい。大町駅はこれまで特急で何度も通り過ぎてはいたが、途中下車する機会のないままだったので、やっと実地見分したというところである。佐賀県とは言え、博多から近いので気軽に出かけられる。長崎本線で肥前山口まで行けば次が大町である。ただし大町は佐世保線なので、乗り換えと連絡便に気をつけたい。

杵島炭鉱は大町駅のすぐ近くから展開されていた。駅の真ん前に鳥居があって、よく見ると「奉獻 唐津市 高取某」とあり、あの高取氏の持ち山であったことが知られる。この炭鉱の関連施設で最大の(そしてリアルな物件としては唯一ともいえる)遺構は、駅から歩いて15分程の所にある赤煉瓦造の変電所跡である。機械類などは撤去されて内部は何もないが、建物はきれいに残っている。「この建物を修復保存し、地域のコミュニティスペースとして未来に有効活用したい」ということで、これを「大町煉瓦館」として、数年前から町民有志が保存活用運動を展開している。記念はがきが無料で配布されていたが、PRには好い案と思われた。近くには高さ百メートル程のボタ山があって、頂上に登ると、かつて全国最高4000人の児童が在籍したという大町小学校など旧炭鉱町が一望できる。

変電所跡活用推進会のパンフレットには、関連施設として選炭場跡、工場電車道、発電所と二本煙突などが挙げられているが、それらは写真の中にしか残っていない。わずかに炭鉱全盛時代にはプロ野球公式戦も行なわれたという杵島球場や商店街は、「閉山十年後」

的気配をいまだに漂わせている。炭鉱住宅も散見するので、大町はそういう雰囲気味わいながら散策する好適地のように思ったことである。

それにつけても、最近も旧坑道が発見された志免炭鉱跡の、産業遺産群の持つパワーの大きさである。他所を見れば見るほど、志免の価値が弥増しに認識される。なお大町の二駅手前の牛津は、玉屋グループを創業した田中丸商店発祥の地(『福岡の近代化遺産』参照)であり、ここではルーツとなった赤煉瓦の商品倉庫と邸宅が見られることも申し添えたい。



佐賀県 大町町 からの発信

かつて炭鉱町として栄えた大町町に、当時の面影を残す唯一の建造物であるレンガ造りの変電所跡、通称「大町煉瓦館」が存在しています。この建物の現在の所有者からの「この建物を修復保存し、地域のコミュニティスペースとして未来に有効活用したい」という提案をうけて、県内外の歴史的文化的遺産の修復活用を推進している「NPOまちづくり研究所」がサポートし、2006年に町内有志からなる「杵島炭鉱変電所跡活用推進会」が発足しました。そして今、この歴史的建造物「大町煉瓦館」を核としてまちづくりにつながる活動や、建物保存活動を展開中です。

#### 大町煉瓦館のご案内

お問い合わせ  
杵島炭鉱変電所跡活用推進会  
〒849-2102  
杵島郡大町町大字福母2673-4  
TEL 050-1255-3549  
URL <http://www.geocities.jp/hfpxf042/index.html>

※お車でお越しの方は大町公民館の駐車場をご利用下さい。

■お願い■  
修復保存・今後の活動のための寄付を募る目的で郵便振替口座を設けています。皆様のご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

郵便振替 口座番号 01700-0-95659  
口座名称 大町煉瓦館



写真 大町煉瓦館のPRはがき

## 【遺産短信】

### 軍艦島世界遺産暫定リスト報告会開催

2008年9月に長崎県端島（通称軍艦島）が世界遺産国内暫定リストに掲載された事を受け、去る11月5日、その報告会が稲佐山観光ホテルにて行われた。報告会には県内外からおよそ100人が参加、事務局もこれに出席して、世界遺産暫定リスト入りをともに祝った。

先日端島への観光目的での上陸条例案も市議会を可決したとのこと。今後長崎にますますの注目が集まることは、間違いない。



## 【お知らせ】

『軍艦島』住み方の記憶』発刊について

小会会員の坂本道徳氏が中心になってまとめられた、端島出身者の方々の体験や思いでを拾い出し、その「今と昔」を写真で比較しながら、当時の生活を探る本が刊行されました。

軍艦島に関連する多くの書籍の中で、今までの廃墟中心の写真集とは異なる、当時の生活者からの視点による新しい軍艦島を知る解説本です。

販売価格:2500円（A4 84頁、送料別 500円）  
注文受付：住所・氏名・電話・数量を記入の上、NPO法人軍艦島を世界遺産にする会まで。振込み確認後送付します。

振込先：十八銀行長与支店 普通 205741  
特定非営利活動法人 軍艦島を世界遺産にする会 代表 坂本 道徳  
問合せ：NPO法人軍艦島を世界遺産にする会（TEL:095-801-6012）



## 【お知らせ】

『鉄道遺産を歩く 岡山の国有鉄道』発刊について

同じく小会会員の小西伸彦氏が長年の鉄道遺産の研究成果を一冊の書籍としてまとめられました。

岡山県の各所に遺る日本の近代化を牽引し続けてきた鉄道関連遺産を丹念な現地踏査に基づいて丁寧に報告する、岡山県の鉄道遺産探訪必携の一冊です。

発行：吉備人出版 小売価格：2000円+税  
書籍コード：ISBN978-4-86069-213-1  
注文問合せ：吉備人出版 TEL:086-235-3456  
<http://www.kibito.co.jp/> [books@kibito.co.jp](mailto:books@kibito.co.jp)



## 【お知らせ】

大牟田市石炭産業科学館冬の企画展  
筑後の近代化遺産展

北九州・福岡・筑豊に続いて企画が進行中の『筑後の近代化遺産（仮）』に関連した企画展示会です。写真と解説で大牟田以外の筑後各地に現存する近代化遺産を紹介します。  
日時：2008年12月16日～  
2009年1月12日 9:30～17:00  
休館日：毎週月曜日・年末年始（12/29～1/3）  
会場：大牟田市石炭産業科学館企画展示室  
入場無料  
問合せ：大牟田市石炭産業科学館 福岡県大牟田市岬町6-23 <http://www.sekitan-omuta.jp/>  
（TEL 0944-53-2377 / FAX 0944-53-2340）

## 会報第 1号・目次

【巻頭言】	【お知らせ】
失われる歴史遺産	『軍艦島』住み方の記憶』発刊について
.....砂場一明 1	..... 3
【報告】	『鉄道遺産を歩く 岡山の国有鉄道』発刊について
杵島炭鉱跡（佐賀県）見学記	..... 3
.....木元富夫 2	大牟田市石炭産業科学館冬の企画展
【遺産短信】	筑後の近代化遺産展開催
軍艦島世界遺産暫定リスト報告会開催	..... 3
..... 3	今後の予定 ..... 4

（お知らせ内の各イベントは、頁末の当会ウェブサイトからもご確認ください）

### 今後の予定

月・日	活動内容
1月 24日	福岡市赤煉瓦文化館「誕生 100 年祭」市民の会・記念式典
1月 31～ 2月 1日	「誕生 100 年祭」市民の会・赤煉瓦探検隊
2月 15日	遠賀川シンポジウム （仮・福岡県立大学）
3月末	九州伝承遺産ネットワークイベント
4月	『肥薩線の近代化遺産』刊行 会報第 12号発行

【予定は都合により変更する事があります】

< 編集後記 >

謹んで新春のおよこびを申し上げます。本年も九州産業考古学会をどうぞよろしくお願い致します。本来ならば、年内に発行する予定であった会報も編集担当の学位取得に伴う煩雑な事情及び慢性の原稿不足のため、会報が大幅に遅れ、遺憾に思う次第です。

この一年、長崎や鹿児島で近代化遺産 / 産業遺産を研究する目的のグループ設立が相次いだ。各地域で遺産の研究が進む中、小会の目的も当初の広報と遺産保存運動から、広域的な情報把握と地域間のとりまとめへと徐々に変容しつつあるのではないかと、ふと考えてしまう。（市原）

### 会費納入・ご寄付のお願い

当会は事務局体制や会報を充実させるため、会則により年会費を個人会員 2000 円、団体会員は 5000 円徴収させて頂いています。当会の趣旨をご理解頂き、会費納入或いはご寄付の程どうぞ宜しくお願いいたします。

会費納入・寄付先口座【郵便口座】

17430-88882241

キュウシュウサンギョウコウコガツカイ

九州産業考古学会事務局 〒 811-3431 福岡県宗像市平井一丁目 12-1 砂場一明 気付

（住所変更・要確認）

TEL&FAX : 0940-36-5501 E-mail : k-sunaba@jcom.home.ne.jp

URL : <http://f17.aaa.livedoor.jp/~heritage/>

学会ML希望者は、上記アドレスもしくはWeb担当者 (iota\_titanus@yahoo.co.jp) まで連絡願います。